

## 【あつし通信 No.37】

### 議会改革特別委員会

#### パート2

前回に引き続き、議会改革特別委員会が8月10日に開催されました。主要テーマは議員定数についてです。

近隣の市では、恵那市が20人↓18人に定数削減。多治見市が24人↓21人に削減することが予定されており、中津川市が21人、瑞浪市が16人です。土岐市が18人という状況です。

2015年に恵那市が2人削減。2016年に中津川市が3人削減。

次は多治見市ということで東濃5市中でも削減のスパイラルが起きていると言えます。土岐市が減らせば次は瑞浪市ということとです。

さらに土岐市はこれまで自治会からの要望書を飲む形で最大4人の削減を行ってききました。

今回はそれが無く議員本人が削減を持ち出しています。自分たちの議員の仕事を増やしても大丈夫だと言っているようなものです。

定数が減れば立候補者や投票率が減る傾向にあります。さらに多様な意見、少数意見が発信すること抑制される恐れがあります。

最近では議会の報告会や権限移譲などで地方自治体の仕事も増えています。議員の本来の仕事を増やして市民の役に立つ議会改革が必要と考えます。

### 第4回市政報告集会

8月26日(土)13時30分

ところ 泉町大坪クラブ

ヒバクシヤ国際署名を呼びかけています  
ご協力お願いします  
日本原水協・事務局 中嶋 國人  
今年の原水禁止世界大会は、広島長崎で歴史的な大会として大きな盛り上がりがありました。長年の運動が実を結び、人類史上初めての3分の2の国連加盟国が初めて核兵器を違法と認めました。その文章には「核兵器の使用の被害者の受け入れがたい苦しみ」に心を寄せた表現の全文に核兵器の非人道性が明記されています。  
唯一の被爆国の日本政府は批准に反対。「こんなことがあってもいいのか」と国民の怒りが沸き起こっています。ヒバクシヤ署名を盛り上げたいと、強い思いでいっばいです。  
土岐市では9月議会に向けて、市民の代表と原爆被害者の会代表が「日本が条約に参加するように求める「意見書採択」の陳情書を提出しました。  
私たちの周りから小さな行動ですが、核兵器のない、戦争のない平和につながる道へ、ご一緒に一歩を踏み出しましょう。

「やきとり」は「赤ちようちん」と「お酒」へと連想してしまいます。

いま焼き鳥は、渡り鳥になっているそうです。ブラジル産のブロイラーの50%は日本へ、船や飛行機で輸入されています。

日本では6億羽のブロイラーが出荷されていますが外国から輸入には驚きです。ブロイラーとは食用用のニワトリです。短期間で急速に成長

### やきとり

させられた品種。肉用はゲージではなく平飼い養鶏だそうですが、普通130日から150日かかるところを、ブロイラー養鶏は40〜50日で成鶏にさせる

うです。エサ代のコスト削減。急激な成長によりブロイラーの30%近くは体を支えることがや

歩行不能。心臓にも負担がかかり、100羽に1羽は心臓疾患で死亡します。知れば知るほど効率化、利潤追求の犠牲になっているニワトリさんを食べ

前、この指針が示されましたが、

守られているでしょうか？しかし、チョウおかしいアベ政治も、効率よく税金をとれるようにマイナンバー制を徹底させています。また簡単に税金を吊り上げる消費税制度。そして社会保障を削り、国民負担をさせる法律。愚痴が出ます。半面大企業には減税。国民のために安

倍さんは、何か国民のための法律を作ったでしょうか？



自民党の人氣が落ち目になると、票の受け皿みたいな顔をして、新しい政党が誕生する

7月の東京都議会選挙では、自民党に愛想をつかした人の票を「都民ファースト」が吸収し、自民の惨敗、都民ファーストの圧勝となりました。これを見て立ち上げたのが「日本ファーストの会」でしょう。「柳の下に二匹目のドジョウ」がいるかどうか▼「〇〇ファースト」とカタカナで言うとかっこよく響きます。しかし、95年間、ひとつの名前でがんばってきた日本共産党はずっと前から「住民こそ主人公」と言ってきました。住民のことを第一に考えるということでも負けません▼アメリカ大統領選挙でトランプ氏が「アメリカファースト」と言いました。彼は温室効果ガス削減を取り決めたパリ協定から脱退するなど、「地球環境」より、アメリカの当座の利益を優先しています▼そういえば日本の新党も「国民ファースト」ではなく、「日本ファースト」です。トランプ氏と同じように、国民より国家の利益優先ということでしょうか。(夢)

# オール岐阜5区 市民の会・連絡会 開催

8月11日、第4回オール岐阜5区市民の会・連絡会が、瑞浪市地域交流センターとさわで開催されました。多治見・土岐・瑞浪・恵那・中津川5市から20数人が出席しました。

冒頭、これに先立つ7月16日に、市民の会と、この地域の野党4党（民進、共産、社会民主、新社会）の責任者との間で、野党共闘を実現するための政策（提言）及び統一候補の擁立について合意されたことが報告され、本気の野党共闘に向けて前進しようと思統一をしました。

次いで、5市での市民の会の組織化の進展と活動状況及び事務局体制の強化について話し合われました。

また、市民の会の政策（提言）に「政府に対し核兵器禁止条約への参加を求める」旨の項目を追加することが確認されたほか、当面の具体的な活動計画について意見交換が行われ、土岐では関連の催しとして9月2日に人権コンサートが開催されること報告されました。



おぜき あつし 7月26日

連日の奮闘を続けています。  
上の写真は土岐市駅前でおぜきあつし・おぜき祥子さん



## 治安維持法犠牲者賠償要求同盟東濃西支部 “アベ政権をおいつめ” 実感！

### 26回総会での相羽記念講演

7月24日同盟東濃西支部は市内で総会を開きました。

「共謀罪」強行など風雲急を告げる情勢のなか「ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために」の大目標を確認、様々な運動方針と役員を選びました。

記念講演として相羽健次（名誉中央委員）さんの語りは、一言も聴き洩らさないとの真剣な聴衆のなか1時間の語りでした。昨年の参院選の結果が一般マスコミの「改憲勢力が2/3」との一大キャンペーンの中、市民と野党協力で、12戦11勝の結果がいかに安倍政権の心胆を震え上からせたかの「真実」を語り、姑息な解散の狙いが次々先送りされ、そして自民大惨敗の都議選となりました。

これもマスコミの「自民か都民フアーストか」の争点ばかりを打ち破って共産党の2議席増19議席の勝利の意味するものを明らかにされました。

講演後日。その後 立て続けに下村大臣、稲田防衛相、自衛隊トップらの引責辞任などがおこり、また野党第1党の民進党の野田幹事長や、連舫代表らの辞任など激変が続いています。

- 相羽講師のまとめは、安倍政権をおいつめ解散に追い込むたかいを大前提に
- ① 政府をつくる「未知の領域へ」
  - ② 野党と市民の共闘を広く深く
  - ③ 日本共産党の引き続く躍進を。と結ばれました。
- 支部長・日比野とみはる

## お金のからくりクイズ

いろんなクイズが増えていますが、おいらの流のクイズ？ お金のからくりクイズに挑戦しています。あきらめずに、ボケ対策。本当に難しいです。クイズと違って「経済」と「お金」から離れることができません。では相当理解できたとしようと、さっぱりわかりません。だけど少しでも分かるとうれしいです。

なぜ経済に惹かれるのかは、金持ちが庶民を平気な顔してだましていることに我慢ができません。だまされたくないというイジのためです。クイズのように、どこが分からぬのかを考えます。

うわべと裏、取引のための本流、裏での作用、政治の黒々とした絡み。スッキリした回答に、なかなかたどり着けません。いろんなパターンがあります。今ぶっかけているのは、実体経済と金融経済です。実体経済とは国民総生産（GDP約500兆円）です。需要と供給とお金とモノの循環経済です。金額が表示されず。貨幣・証券が実体経済を滑らかに流通させている役割もあります。

でも、ここに表示されないお金があります。金融資産です。外国や国内の株・証券・国債投資で利益を上げたお金です。お金だけでお金を増やす経済を金融経済と言っています。数字があまり出ません。マスコミもあまり説明しません。この実体経済と金融経済を分けて考えた方がいいです。この関係の比率を考えます。1980年代までは1対1でした。状況が変わったのは、1990年代以降です。この年代には、約2倍。お金がふくらみます。2000年代には3.5倍。現在では、何と10倍以上と言われています。想像でない！わが国の借金だけでGDP500兆円の2倍です。全て債権・証券・株の金融資産で見えなくなりました。現在の世界経済において共通する重要な問題は「実体経済」のあなとりと「金融経済」への依存症「大金持ちだけの世界。「アベノミクス」は「金融経済依存」の重病入。年金積立金も使って株・債券買って政府主導でバブル経済、アワ踊り。これが「お金のからくりクイズ」です。 かみ